



Welcome to MUTO music method

本書は、ムトウ音楽メソッドによる3線譜「クロマチックノーテーション」^{*1}で記譜されています。
1オクターブを3本の基線で示しており「#」「b」や音部記号などは無く、12種類の「音の絵柄」を覚えるだけです。とてもシンプルで、短時間で覚えることができ、直感的に読譜できるのが特長です。

ここでは、そのクロマチックノーテーションの特長を解説いたします。

SPECIAL POINT

#・bなどの変化記号がない！

クロマチックノーテーションは、ハ長調以外のどの調であっても、
#やbなどの変化記号はありません。

SPECIAL POINT

音部記号がない！

FIG.1
クロマチックノーテーションの音部記号

1オクターブ {

高

音域

低

↑
実線上の音はすべて「ド」

クロマチックノーテーションは、音部記号の代わりに「数字」が使われています。

この数字の意味は、記されている音符がどの高さの音域を示すのかを明示するために用いられています。さらに、どの高さの音域でも、実線上の音はすべて「ド」となります。

FIG.2
五線譜に使用されている音部記号

ト音記号

ヘ音記号

ハ音記号

五線譜では、音部記号によって「ド」の位置がそれぞれ違います。

さらに表示音域によっては、音部記号が上下に移動することもあります。

*1:「3線譜」とは、3本の基線で1オクターブを表すことができる楽譜です。

ムトウ音楽メソッドを基に開発された記譜法で「クロマチックノーテーション」または「ムト譜」とも言います。

SPECIAL POINT

黒鍵の音に名前をつけました！

名前が無かった黒鍵の音に名前をつけました。

これによって12音をなめらかに読むことができるので、効率よく音感や理論を習得できます。

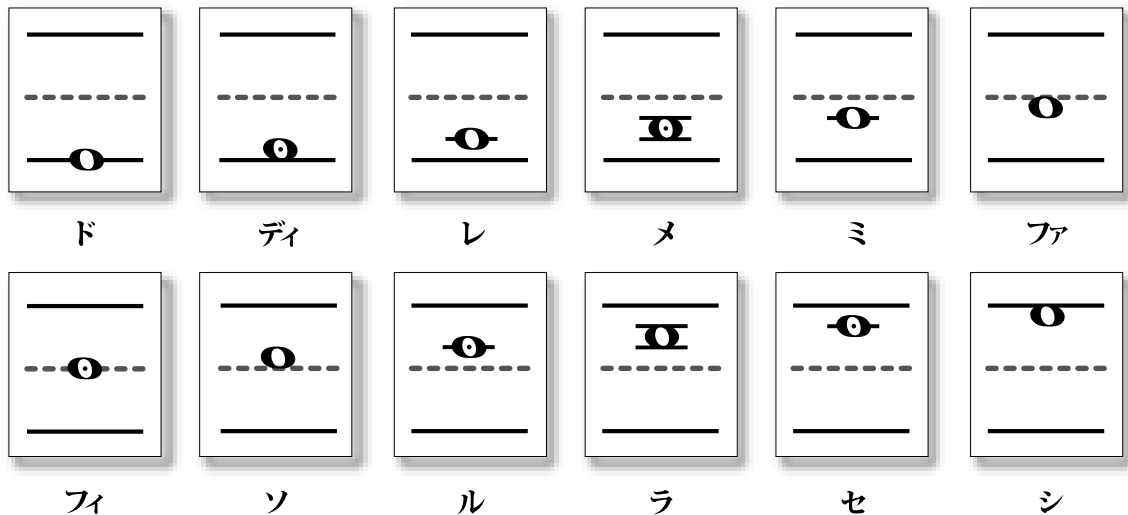
C [#] or D ^b	D [#] or E ^b	F [#] or G ^b	G [#] or A ^b	A [#] or B ^b
▼	▼	▼	▼	▼
di	me	fi	lu	se
ディ	メ	フィ	ル	セ

SPECIAL POINT

1オクターブが読めれば、OK！ どんなに高い音でも、低い音でも同じ読みかたです。

「音の絵柄」として覚えます。

12種類の「音の絵柄」を覚えるだけで、とてもシンプルで直感的な読譜ができます。



太い実線上は「ド」、真ん中の点線上は「フィ (F[#] or G^b)」、「レ、ミ」と「ル、セ」は絵柄が似ていますが、実線寄りなのか、点線寄りなのか、線との距離感で識別ができます。

ディ・メ・フィ・ル・セには点がついていて、どれも特徴的で覚えやすくなっています。



前ページの絵柄を並べてみると・・・

実際の音と同じ距離感で、滑らかに並びます。

クロマチックノーテーションでの12半音階の表記

Do	di	Re	me	Mi	Fa	fi	So	lu	La	se	Si(Ti)
ド	ティ	レ	メ	ミ	ファ	フィ	ソ	ル	ラ	セ	シ

SPECIAL POINT

「視覚」と「聴覚」の音の距離間隔が、正確に一致！

記譜（視覚）の音と音の距離間隔（音程）と
実音（聴覚）の音と音の距離間隔（音程）が、正確に一致します。

それにより、スケールやコードの仕組みが明確になり、
自然と「音感」が身に付き、音楽への「理解」が深まります。